

美唄市パートナーシップ制度（素案）に寄せられた意見と市の考え方について
（パブリックコメントの結果）

1 意見募集の概要

政策等の題名	美唄市パートナーシップ制度（素案）
政策等の案の公表の日	令和8年1月6日（火）
意見提出期間	令和8年1月6日（火）から令和8年1月30日（金）まで

2 結果の概要

提出された意見は、次のとおりです。

意見数（意見提出者数）	3件（3人）
インターネット	1人
ファクシミリ	人
郵送	1人
直接持参	人
無効な意見提出	1人

3 提出意見の内容

パブリックコメントコメントで提出された意見の内容とそれに対する市の考え方は、次のとおりです。

《総括表》

反映区分	意見の考慮の結果	件数
A	意見を踏まえ、政策等に反映したもの	
B	意見の趣旨が既に政策等に反映されているもの	1
C	意見を政策等に反映しなかったものの、今後の検討のために参考とするもの	1
D	その他（質問など）	

No.	提出された意見の要旨	提出された意見に対する市の考え方	反映区分
1	<p>制度の導入に賛成します。</p> <p>パートナーシップ制度があることは、転居先として選ぶ際に重要な要素です。</p> <p>なお今後、婚姻制度を利用できない／しない異性カップルもパートナーシップ制度を利用できるようにすることや、カップルの親や子も含めたファミリーシップ制度への拡充を希望します。</p>	<p>この制度は、性的マイノリティのカップルに対して、2人の関係を公的に認めることにより、安心感を与えるとともに、社会的な理解を広げていくことを目的としています。制度の柔軟性と公平性を確保しながら、議論や検討を進めてまいります。</p>	C
2	<ul style="list-style-type: none"> ・LGBTQ+の人が、相談できる場所作り ・LGBTQ+の事をもっと知ってもらうための活動（例えば祭りやパートナーを探している人の話を聞く。）。 ・LGBTQ+の人達のための結婚相談所があると嬉しい。 <p>LGBTQ+やパートナーシップ制度についての研修をするべき（LGBTQ+の人達を講師として。）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道から沖縄県、日本中のLGBTQ+の結婚を認めるべき。 	<p>市では、これまでも性的マイノリティ等に関する周知・啓発活動や人権尊重の意識を育む取組みが進められているところであります。制度導入後は、制度を利用しやすい環境及び周囲の理解の広がりが重要であると認識しており、引き続き、市民や関係機関、企業に向け多様な性の理解促進に取り組むとともに、今後はパートナーシップ制度の周知とあわせ、多様性を認め合い、自分らしく生きることができると社会の実現を目指してまいります。</p>	B